

# 第 11 回農業活性化特別委員会

日時：平成 28 年 7 月 29 日（金）午前 10 時 31 分～

場所：市議会委員会室

◎ 今回の委員会では次の点について、協議等を行った。

1) 第 9 回委員会での協議した内容確認を行った

- ①複合経営、施設園芸への移行するための支援等
- ②野菜・花き価格安定事業内容の確認

2) 先進地視察研修結果報告

平成 28 年 6 月 28 日～30 日 広島県東広島市及び世羅町

【主な要点】

東広島市：少子高齢化、地域が停滞しているという危機意識から、全戸アンケート調査を実施した結果、農業をやめたいとの意見が多数であったことから、集落を崩壊させずに維持していくためには集落法人しかないという結論に至り、平成 17 年 11 月より地域の農地、労働力など農業生産資源を最大限活用しながら、作付の団地化・省力化・低コストを図り、水稻、大豆、そば、野菜の安定生産と戦略作物の模索を行い、法人経営を協業によって、組合員の協同の利益として向上させ維持していた。農村コミュニティの一つのモデルと言える。

世羅町：6次産業化の課題を打開するため大学教授の指導、助言を得ながら活動し、研修会、検討会を重ね、郡内の農園、産直市場、女性起業者を構成員とした32団体により「世羅高原6次産業ネットワーク」を結成した。現在は57団体に増加し売上高も増加させている。

3) 先進地の取り組みで当市に活かせる点がないか意見交換を行った。

- ① 全戸に対してのアンケート調査を実施していた
- ② 外部からの専門家の指導、助言を得て活動を実施していた。

4) これまで出された意見を確認しながら、市へ提言案の骨子について意見交換を行った。

【これまで出された主な意見項目】

①ブランド関連 ②農地の集積・集約 ③後継者問題 ④6次産業化

⑤稲作・転作 ⑥行政及び議員の役割

※ 上記のほか、プレミアムメロンの販売戦略、外部からの専門家の登用、農協との関わり等について特に活発な意見が出された。

※ 次回は市に提言する内容について、更に検討しまとめていくこととした。